

運営会社ユー・エス・ジェイ（大阪市）のジャン・ルイ・ボニエ最高経営責任者（CEO）は18日の開業式典で「誰もが夢にみたマリオになれる場所だ。いまこのような時代だからこそ心の底から元気になれる体験が必要だ」と強調した。マリオの生みの親である任天堂の宮本茂代表取締役フェローも「コロナウイルスが落ち着いた日には世界中のみなさんにUSJに来てほしい」と話した。

USJの新エリアはミニオン・パーク以来、約4年ぶり。投資額は600億円超。当初は2020年夏の開業を予定していたが、2度延期した。大阪府の緊急事態宣言の解除を受けて開業を決めた。今もUSJ全体で入場制限を続けている。



「マリオ」がテーマの新エリア「スーパー・ニンテンドー・ワールド」

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.